

**質問** 玉川上水を多くの市民に知ってもらうため、①市ホームページで紹介しているデジタルアーカイブズの項目に、内容がわかるようメニューを記載すべき。②アキシマエンス郷土資料室で紹介されていることも周知すべき。③都が主催する子ども向け勉強会を市内の小学校でも実施すべき。

**答弁** ①直接アクセスできるようにするなど、今後も分かりやすいページ作りを目指す。②市のホームページや広報、SNS等を活用し、更なる周知啓発に努める。③授業への導入は困難性があるが、勉強会の内容については必要に応じて取り入れられるよう、各学校

に周知する。① 保育園の車両による送迎での無事故を期するため、施設の駐車場整備や借り上げ、有料駐車場のサービスチャケットの補助等、市としても支援策を考えるべき。

**質問** 高齢者の歯科検診に、口腔機能の低下は社会的孤立のきっかけや心身の活力の低下につながる。65歳以上の定期健診と後期高齢者医療健診に歯科検診を入れるべき。

**答弁** 異なる医療機関で受診しなければならず、市民の負担増や財源確保にも課題がある。どのような取り組みが効果的か、引き続き検討する。

**質問** 障害者の重度化・高齢化に対応する地域生活支援拠点と、ワンストップ型で24時間総合相談が出来る基幹相談支援センターの整備について、検討状況は。

**答弁** 地域生活支援拠点は、様々な法人等と意見交換を行い、早期実現を目指す。基幹相談支援センターは、令和5年度中に整備の方向性を決定する。

**質問** 医療的ケア児の発達を支援するため、コーディネーターを配置し、切れ目の設置する考えは。

**答弁** 設置予定はないが、既存の制度の周知に努め、子どもからの申し立てにも迅速な解決に向け関係部署とも協議・調整を図る。

**質問** 市では令和3年度から保育園でおむつの園内処理を導入したが、保護者や保育園の更なる負担軽減のため、手ぶらでの登園が可能となるおむつのサブスク導入の推進を図るべき。

**答弁** 市内で既に実施している施設もある。保護者のニーズを注視し、保育園と連携を図る中で利便性の向上に努めていく。

**質問** 全国的に登校が増える中、①学びを止めずに社会とつながりを持つ。②リースクールとの連携は今後欠かせないと考える。対応は。②保護者へのサポートとして、リースクールに関する情報を提示すべき。

**答弁** ①担任がリースク

者だけで市内13か所の小学校に対応できるのか。②民間プールへの移動等の時間を考慮すると、授業時間の減少につながるのでは。

**答弁** ①1つの民間施設で対応が可能なか検討していく。

**質問** 障害者の重度化・高齢化に対応する地域生活支援拠点と、ワンストップ型で24時間総合相談が出来る基幹相談支援センターの整備について、検討状況は。

**答弁** 地域生活支援拠点は、様々な法人等と意見交換を行い、早期実現を目指す。基幹相談支援センターは、令和5年度中に整備の方向性を決定する。

**質問** 医療的ケア児の発達を支援するため、コーディネーターを配置し、切れ目の設置する考えは。

**答弁** 設置予定はないが、既存の制度の周知に努め、子どもからの申し立てにも迅速な解決に向け関係部署とも協議・調整を図る。

子どもが不登校となる状況があるが、対応は。

**答弁** ①継続して学習支援員として従事を希望する方人数把握を第一に、従事可能な曜日や社会保険加入の目安となる週20時間以上の従事を希望される方の把握を目的に実施した。②若者の自立が社会問題となる中、寄り添い歩むことが必要である。どのようなアプローチや支援をしているのか。

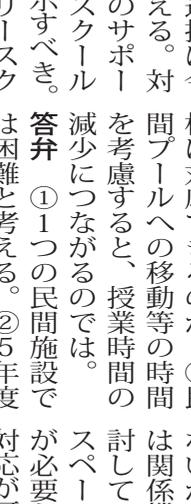
**質問** 昭島市の小中学校に、①学習支援員を令和5年度から会計年度任用職員として採用するに当たりアンケート調査を行ったが、目的は。②法により週40時間以上の勤務ができないため、会計年度任用職員が子どもたちへこれまでどおりの支援をできなくなる。③スクールソーシャルワーカーの人数は足りているのか。④学校の対応が原因で保護者との関係が悪くなり、国や都に要望していく。④な支援に努めている。



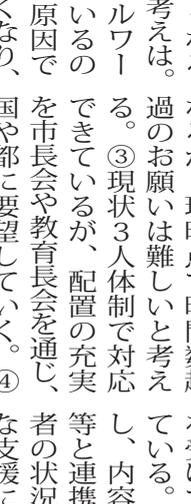
歴史的遺構としての玉川上水の再生と保全について  
公明党昭島市議団 渡辺 純也 議員



自分らしく生きるための施策について  
みらいネットワーク 林 まい子 議員



子ども子育て支援の拡充について  
無党派 ゆずまさ子 議員



昭島市の小中学校について  
無党派 八田 一彦 議員



花言葉は「明るい未来」(ムスカリ)

一般質問 (要旨)

**反対** 昭島市国民健康保険条例の一部を改正する条例を可決とする委員長報告について  
林 まい子 議員  
議会には住民自治の基盤で、地域の民主的な合意形成を

**反対** 昭島市議会の個人情報保護に関する条例  
奥村 博 議員  
一人に、非個人情報とすることで本人の同意を得ずるに目的外利用を可能にしており、当面導入はしないが法で義務付けられれば導入せざるを得ないとしている。匿名加工情報の募集は行わない強い決意を示した上で、自己情報コントロール権を保障することが重要と考え、本条例に反対する。

**反対** 日本共産党昭島市議団  
奥村 博 議員  
個人情報保護条例では、本人からの個人情報の直接収集や目的外利用、外部提供の制限などの原則が定められてきた。しかし、法改正により匿名加工情報を公開されたデータが重要と考え、本条例に反対する。

**反対** 日本共産党昭島市議団  
奥村 博 議員  
国民健康保険の財政難と国民健康保険税の高騰を招いた根本原因は、国庫負担の引き下げにある。全国知事会が国に均等割の廃止や賦課限度額を引き上げ、増収分を低所得者の負担増を抑制するやり方は、抜本地方への1兆円の財政支援を要望したように、国が公

5面下段より  
必要がある。市民に十分意見を聞き、最大限の情報共有と情報公開を行うとともに、市民参画・市民協働を一層推進することで市民とともに地域説明や、あらゆる施策に人の力を高めることを求め、本予算に賛成する。